

ふくし滑川

第134号
令和5年10月発行





夏休みボランティア活動体験



探求活動隊報告。



児童・生徒の夏休み期間中、福祉の心の醸成を図るための各種ボランティア体験講座を開催しました。今年度は施設・団体のご協力のもと、延べ56人の参加がありました。体験時の様子をご紹介します。

手から心へ思い伝わる体験(7月25日、26日)

2日間にわたり、手話サークル「めばえの会」の方を講師に迎え、指文字やイメージしたものを表情も交え、身振り手振り等で表現する方法を教わりました。

最終日には手話も上達し、声に出さなくても相手に伝えられることの面白さや大切さを学びました。



Sigh language ♪

おまけ。
ブルーベリー摘み！



いろいろ車椅子体験(7月27日)

理学療法士の資格を持った社協職員が講師となり、多種多様な車椅子の紹介や介助体験、障がい者スポーツの実践をしました。また実際に車椅子に試乗し、施設内を移動して段差や坂道の難しさを体験しました。体験はもちろん身の回りのバリアに気づき、自分たちにできることの大切さも学びました。



体験して分かること。



製品づくり・音楽療法体験(7月31日)

障害福祉サービス事業所「つつじ苑」で、利用者さんと一緒にヨモギを使った入浴剤づくりや音楽に合わせてカラダを動かす音楽療法を体験しました。

また、他の作業も少しだけお手伝いしました。様々な方とふれ合う楽しさや、音楽の力で人と人をつなぎ支え合う気持ちの大切さを学びました。



海岸清掃活動体験(7月29日、8月26日)

ほたるいかミュージアム周辺の海岸で、一般社団法人「ばいにかこ村」と協働して海岸清掃環境整備活動を行いました。約1時間の活動で、たくさんのゴミが集まりました。自分一人の力は小さくても、みんなの力が集まれば大きな力になることや、人とのつながりの大切さを学びました。



ファミサポってなんだろう？



ファミリー・サポート・センター事業は、子どもの預かりや送迎等、子育ての「援助を受けたい人（依頼会員）」と「援助を行いたい人（協力会員）」が会員となり、地域で助け合う活動（有償）を行う事業です。興味のある方はお気軽にお問合せください！



ファミサポの活動とは…

- 保育所・幼稚園等の開始前や終了後の子どもの預かり
- 保護者の急用による一時的な子どもの預かり
- 保育施設等への子どもの送迎等

※依頼内容や活動可能日時等により、協力（依頼）会員が見つからない場合がございますので、予めご了承ください。

<協力会員への報酬例>

子ども1人 平日 16:00～17:00(1時間)の預かりの場合
400円(依頼会員負担)+400円(センター助成金)=800円

<お問合せ>

滑川市ファミリー・サポート・センター
TEL 076-475-7004



「知って安心！」マネー・ライフプラン講座を開催しました！

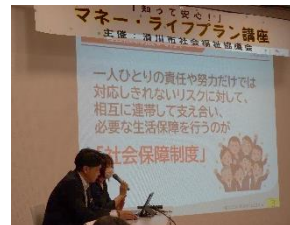
7月29日(土)に、子育て中の方を対象に、将来や万が一のためのご自身やお子さんのお金の使い方や備えについて学ぶことを目的に講座を開催しました。

当日は、にいかわ信用金庫様と第一生命保険株式会社様を講師にお招きし、具体的な貯蓄方法や進学にかかる費用、社会保障制度等についてわかりやすく教えていただきました。また、受講者への個別相談にも丁寧に応じていただきました。

受講者からは、「周囲に相談しづらいお金のことを専門家に相談することができて、良かった」とのお声をいただき、今後のライフプランを考える良いきっかけとなったのではないかと感じました。



ありがとう
ございました！



フードドライブ

たくさんのご協力ありがとうございます！



【令和5年7月1日～8月31日までに寄付いただいた企業・団体様(順不同・敬称略)】
第一生命保険株式会社/にいかわ信用金庫/滑川高等学校/高月加茂神社 等
この他にもたくさんの方からご寄付いただいています！

- ★受取窓口…滑川市社会福祉協議会窓口(平日8:30～17:15)、ファミリーマート田中町店・柳原店
- ★フードドライブとは…家庭等で余っている食品を持ち寄り、食品を必要とする方や施設、団体に提供する活動

第63回滑川市社会福祉大会に関するお知らせ

滑川市の社会福祉活動の発展に貢献された方々の表彰や記念講演を行います。今年のお社会福祉大会の内容についてご案内いたします。

- ・と き：11月11日(土)午後1時30分から午後4時まで
- ・と ころ：滑川西地区コミュニティホール
- ・式 典：社会福祉に貢献された方への表彰、滑川市善意銀行感謝状贈呈
子どもたちの赤い羽根共同募金作品入賞者表彰
- ・記念講演：講師 医療型短期入所施設“もみじの家”ハウスマネージャー、
元NHKアナウンサー 内多 勝康 氏
テーマ「医療的ケアがあっても安心して暮らせる
インクルーシブ社会を目指して」



うちだ かつやす
内多 勝康 氏 プロフィール
1963年東京都生まれ。
東京大学教育学部卒業後、
NHKに入局。
30年間アナウンサーとして活
躍される。53歳で転職し、国
立成育医療研究センター「も
みじの家」ハウスマネージャー
に就任。

また、市内の小学生を対象にした、赤い羽根共同募金の作品応募で募り
ました全作品を11月11日(土)午後1時から午後4時まで、滑川西地区コ
ミュニティセンターロビーにて展示します。

お知らせ

ボランティアの集いを開催します

滑川市ボランティア連絡協議会の皆さんが中心となり、日頃のボランティア活動の
情報交換と交流会をします。

- ・と き：11月11日(土)午前10時から午後12時まで
- ・と ころ：滑川西地区コミュニティセンター



当日は、市内で活躍しているボランティア団体の活動紹介や体験、喫茶コーナー、遊休品等の
販売があります。社会への普及啓発を通してボランティア活動の発展を目指します。

♪募金で支えられた人は、

赤い羽根共同募金は、行政の手の届かない小
さな「困ったこと」のために使われています。
滑川市で集まった募金の約70%は、滑川市を良
くするためのさまざまな福祉活動で使われてい
ます。残りの30%は市町村を越えた広域での活
動や災害時の備え等に使われています。

募金期間：令和5年10月1日～12月31日まで

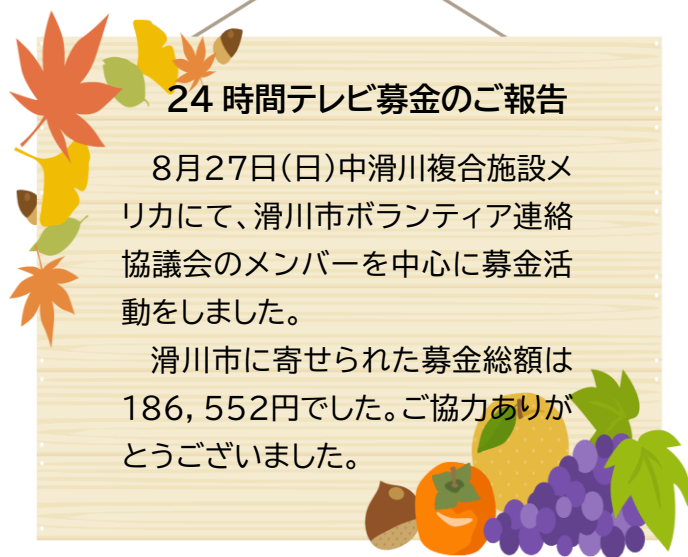
滑川市共同募金委員会では、募金箱を設置してい
ただけの事業所、店舗を募集しています。
「じぶんの町を良くするしくみ」にご協力よろしくお願
いいたします。

募金で支える人になる♪

24時間テレビ募金のご報告

8月27日(日)中滑川複合施設メ
リカにて、滑川市ボランティア連絡
協議会のメンバーを中心に募金活
動をしました。

滑川市に寄せられた募金総額は
186,552円でした。ご協力ありが
とうございました。



発行/滑川市社会福祉協議会

〒936-0051 滑川市寺家町104 滑川市庁舎東別館2階(旧市民会館)

TEL 475-7000 FAX 475-9671 <http://www.nashakyo.net/>



この広報は一部共同募金の助成金により発行されています。